

平成23年9月度 財団法人倉敷中央病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時 : 平成23年9月14日(水) 16時30分 ~ 17時35分
 開催場所 : 院内第6会議室
 出席者 : 後藤剛、上田恭典、松岡孝、二宮伸介、佐野薫、清輔良江
 高柳和伸、徳田衡紀、武永省二(非専門委員)
 梶谷浩一(外部委員)、奥野健次(外部委員)

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
[S-888711の■■■■■を対象とした第II相用量探索試験] (第543号) 一般名:なし 治験依頼者:塩野義製薬株式会社 開発の相:第II相 対象疾患:■	これまでに得られている非臨床試験成績、臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。 審議結果:承認
[■を対象としたCH5424802の第I/II相臨床試験](第544号) 一般名:未定 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第I/II相 対象疾患:■	これまでに得られている非臨床試験成績、臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。 審議結果:承認
[パクリタキセル溶出バルーンによるISR治療における臨床的有用性の検討](第510号) 一般名:NP001(パクリタキセル溶出バルーン) 治験依頼者:ニプロ株式会社 開発の相:第III相 対象疾患:ステント内再狭窄病変	当院で発生した重篤な有害事象及び重篤な副作用について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[大動脈弁狭窄患者を対象とした経カテーテル生体弁の臨床試験](第520号) 一般名:未定 治験依頼者:エドワーズライフサイエンス株式会社 開発の相:— 対象疾患:弁尖の硬化変性に起因する症候性の重度大動脈弁狭窄	・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・当該治験機器で発生した重篤な副作用報告及び措置報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書別冊取扱説明書の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	・治験分担医師の職名変更、追加、削除について、迅速審査の結果(2011年7月23日実施:承認)が報告された。 ・治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月16日実施:承認)が報告された。
[高リン血症を呈する保存期の慢性腎臓病(CKD)患者における炭酸ランタンの有効性および安全性を検討することを目的とした無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験](第523号) 一般名:炭酸ランタン 治験依頼者:バイエル薬品株式会社 開発の相:第III相 対象疾患:高リン血症	・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[高リン血症を呈する保存期の慢性腎臓病(CKD)患者における炭酸ランタンの安全性および有効性を検討することを目的とした非盲検、非対照、長期投与試験(二重盲検比較試験からの継続試験)](第524号) 一般名:炭酸ランタン 治験依頼者:バイエル薬品株式会社 開発の相:第III相 対象疾患:高リン血症	当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
<p>[大動脈弁狭窄患者を対象とした経カテーテル生体弁(20mm)の臨床試験](第540号) 一般名:未定 治験依頼者:エドワーズライフサイエンス株式会社 開発の相:— 対象疾患:弁尖の硬化変性に起因する症候性の重度大動脈弁狭窄</p>	<p>・当該治験機器で発生した重篤な副作用報告及び措置報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・症例報告書の見本の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>同上</p>	<p>・治験分担医師の追加、削除について、迅速審査の結果(2011年7月23日実施:承認)が報告された。 ・治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月16日実施:承認)が報告された。</p>
<p>[びまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象としたLY317615による寛解維持療法の国際共同無作為化プラセボ対照二重盲検比較第Ⅲ相試験](第487号) 一般名:Enzastaurin 治験依頼者:日本イーライリリー株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:びまん性大細胞型B細胞リンパ腫</p>	<p>・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書別冊、治験薬概要書の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験期間が1年を越えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>同上</p>	<p>契約期間の延長(1年を越えない)について、迅速審査の結果(2011年8月8日実施:承認)が報告された。</p>
<p>[日本人関節リウマチ患者を対象としたアダリムマブ(D2E7)による関節破壊進展防止試験](第500号) 一般名:アダリムマブ(遺伝子組換え) 治験依頼者:アボット ジャパン株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:関節リウマチ</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>同上</p>	<p>治験終了報告を確認した。</p>
<p>[日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼によるBIBW 2992の肺線癌患者を対象とした第Ⅲ相試験](第512号) 一般名:未定 治験依頼者:日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:肺腺癌患者</p>	<p>・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び措置報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書別紙等の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>同上</p>	<p>治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年7月28日実施:承認)が報告された。</p>
<p>[KW-6002のパーキンソン病を対象とした第Ⅲ相長期投与試験](第514号) 一般名:■ 治験依頼者:協和発酵キリン株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:パーキンソン病</p>	<p>当該治験薬に関する定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>[EMD531444の第I/II相臨床試験](第518号) 一般名:■ 治験依頼者:メルクセローノ株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■</p>	<p>当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果:承認</p>
<p>同上</p>	<p>治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月4日実施:承認)が報告された。</p>

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
[中外製薬株式会社の依頼によるRo50-8231の第Ⅱ相臨床試験](第521号) 一般名:エルロチニブ塩酸塩 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■	当該治験薬で発生した重篤な副作用報告、措置報告及び定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[AVJ-09-385冠動脈ステント治験](第526号) 一般名:該当せず 治験依頼者:アボット バスキュラー ジャパン株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:虚血性心疾患	当該治験機器で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	・治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月25日実施:承認)が報告された。 ・冠動脈ステントに係る使用上の注意の改訂等についてが報告された
[アステラス製薬株式会社の依頼によるASP3550の第Ⅱ相試験](第533号) 一般名:- 治験依頼者:アステラス製薬株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■	当該治験薬で発生した重篤な副作用報告及び研究報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年7月27日実施:承認)が報告された。
[ネイティブ冠動脈の新規病変に対するMDT-4107薬剤溶出型冠動脈ステント治療の長期安全性臨床評価](第535号) 一般名:薬剤溶出型冠動脈ステント 治験依頼者:日本メドトロニック株式会社 開発の相:第Ⅲ相試験 対象疾患:ステントを用いた経皮的手技による治療が可能な対照血管径2.5mm~3.5mm、長さ27mm以下のネイティブ冠動脈に生じた狭窄病変に起因する虚血性心疾患を有する患者とし、日本におけるMDT-4107ステント臨床試験(治験実施計画書No.MDT2-07-03)に登録した患者。	当該治験機器で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月25日実施:承認)が報告された。
[中外製薬株式会社の依頼によるRo50-8231とベバシズマブ併用の第Ⅱ相試験](第536号) 一般名:エルロチニブ塩酸塩 治験依頼者:中外製薬株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■	・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告、措置報告及び定期報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書別紙、治験薬概要書、説明同意文書の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[アストラゼネカ株式会社の依頼によるAZD6140の第Ⅲ相二重盲検比較試験](第537号) 一般名:Ticagrelor 治験依頼者:アストラゼネカ株式会社 開発の相:第Ⅲ相試験 対象疾患:非ST上昇型又はST上昇型急性冠症候群(ACS)	・当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書、説明同意文書の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
同上	治験依頼者代表者の変更報告を確認した。
[第一三共の依頼による急性冠症候群を対象としたCS-747S第Ⅲ相試験](第538号) 一般名:Prasugrel 治験依頼者:第一三共株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:急性冠症候群	当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
同上	治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月26日実施:承認)が報告された。
[非小細胞肺癌患者を対象としたARQ 197とタルセバの第Ⅲ相プラセボ対照二重盲検比較試験](第542号) 一般名:Tivantinib 治験依頼者:協和発酵キリン株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:非小細胞肺癌	当該治験薬で発生した重篤な副作用報告に基づき、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[パクリタキセル溶出バルーンによる冠動脈小血管狭窄病変における臨床的有用性の検討](第511号) 一般名:NP001(パクリタキセル溶出バルーン) 治験依頼者:ニプロ株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:冠動脈小血管病変	契約期間の延長について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[MK-7009第Ⅱ相試験](第515号) 一般名:未定 治験依頼者:MSD株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■	・治験実施計画書等の変更について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施体制の変更に伴う治験責任医師の変更について、適格性の観点から審議した。 ・治験分担医師職名変更、削除について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[S-888711の■■■■■を対象とした第2相臨床試験](第539号) 一般名:なし 治験依頼者:塩野義製薬株式会社 開発の相:第Ⅱ相 対象疾患:■	治験実施計画書の変更、契約期間の延長について、引き続き治験実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
[SMP-508のチアブリジン系薬剤併用 第Ⅲ相試験](第528号) 一般名:レパグリニド 治験依頼者:大日本住友製薬株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:2型糖尿病	・治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月27日実施:承認)が報告された。 ・治験終了報告を確認した。
[SMP-508のチアブリジン系薬剤併用 長期投与試験](第529号) 一般名:レパグリニド 治験依頼者:大日本住友製薬株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:2型糖尿病	治験実施体制等の変更について、迅速審査の結果(2011年8月27日実施:承認)が報告された。
[フェロンのC型代償性肝硬変に対する製造販売後臨床試験](第489号) 一般名:インターフェロン ベータ 治験依頼者:東レ株式会社 開発の相:第Ⅳ相 対象疾患:C型代償性肝硬変	治験終了報告を確認した。
[転移巣を有さない内分泌療法抵抗性前立腺癌患者を対象としたZD4054 10 mg 1日1回経口投与時の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相無作為化プラセボ対照二重盲検試験](第491号) 一般名:■ 治験依頼者:アストラゼネカ株式会社 開発の相:第Ⅲ相 対象疾患:転移巣を有さない内分泌療法抵抗性前立腺癌患者	治験中止報告を確認した。

議題	審議結果を含む議論の概要(迅速審査の報告含む)
[UD-CG115BSカプセルの長期投与による心不全の予後に関する検討(プラセボを対象とした二重盲検比較法による市販後特別調査)](292号) 一般名:ピモベンダン 治験依頼者:日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 開発の相:第IV相 対象疾患:慢性心不全	必須文書保管期限終了の報告を確認した。